

「誰ひとり取り残さない」共生社会をめざして」

八代市では、全ての人の人権が尊重され、共に支え合い、共に生きることができる「共生社会」の実現をめざしています。
ゲートキーパーについて一緒に考えてみませんか。

今月のテーマ

ゲートキーパー

～ 働く仲間がゲートキーパー ～

ゲートキーパーとは？

悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守る人のことです。職場で毎日顔を合わせる同僚は、悩んでいる人の小さな変化に気づきやすいです。働く仲間がゲートキーパーになって、大切な命を守っていきましょう。

ゲートキーパーの役割

・「気づき、声かけ」

あなたのまわりにこんな人はいませんか？元気がない、無表情、仕事のミスが多くなった、遅刻や無断欠勤、欠勤がある。→ こんな声かけをしてみましょう！
「最近、元気がないけど無理してない？」「よかったら、少し話さない？」

・「傾聴」

話しやすい環境で、ゆっくりと本人の話に耳を傾けましょう。本人が話す気になるまでじっくり待つことが大切です。

・「つなぐ」

個人で抱え込まないで、職場の上司や相談窓口等につなぎましょう。
一方的に押し付けず、相手の理解を得ましょう。

・「見守る」

相談先へつないだ後も、引き続き見守っていることを伝え、相談があれば受け止めましょう。
ゲートキーパーは一人で問題を解決する必要はありません。市や関係機関が設けている様々な相談窓口を活用し、適切につなぐことが重要です。

人権相談は、ご本人だけでなく寄り添う方にもご利用いただいています

人権相談は、電話または面談で行っています。相談は当事者の方ご本人だけでなく、ご家族や支援者の方などから寄せられることもあります。面談では、当事者の方と付き添いの方が一緒に来られる場合も多く、当事者ご本人が話しにくい内容については、付き添いの方が思いを伝えられることもあります。

ひとりで悩まず、まずはご相談ください

【相談日時】 月曜～金曜（9:00～17:00）

※祝祭日・年末年始を除きます / ※水曜日は相談員不在となります

人権相談窓口専用電話：30-1710

毎月11日は『人権を確かめあう日』です

